

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)） または右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2024年3月8日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年春闘No.12

2023年度推進ニュース①9通算329号

発行責任者 小島 茂

2024年春闘勝利・建交労3.7中央行動！ 山場を迎え統一闘争への全国決起はかる

2024年春闘の山場を迎えた3月7日、建交労は全労連・春闘共闘の中央総行動に合流して3.7中央行動を展開し、全国から結集した約160名の仲間が国会・霞が関周辺での集会・パレード・省庁交渉・国会議員要請の他、業界団体・スーパーゼネコン本社要請などを展開しました。

霞が関プラザホールを満杯にして開催した建交労総決起集会で角田季代子委員長（右上写真の右側）は冒頭で能登半島地震被災者へのお見舞いを述べ、労職部会、ダンプ部会の仲間56名が被災し現在全国から420万円余のカンパが寄せられていると報告し支援の継続を呼びかけました。また、建交労は結成から25年間“失われた30年”のなかでたたかってきた。金まみれの自民党政治を追いつめて大幅賃上げや制度要求などを実現し、さらに“関西合同支部、兵庫合同支部での新結成につづいて全国での組織拡大をすすめよう！”と訴えました。

来賓では初めに日本共産党の高橋千鶴子衆院議員（右下写真右側）が挨拶、能登半島地震の現状に触れ“政府の決断とイニシアチブの必要性”を訴え自民党の裏金問題では立憲民主党などとの共同と世論で自民を追いつめていると報告しました。春闘では2024年問題の交通・建設労働者はじめ学童保育など重要な仕事を担う労働者の処遇改善は待たなしと強調しました。

つづいて挨拶に立った全労連の黒澤幸一事務局長（左上写真の右側）は、財界・政府が賃上げを強調し

私が経験したことがない追い風春闘が山場を迎えた。JMITUは昨日平均1万1299円の回答を引き出したが納得せずストを構えて大幅上積みを求めている。また、名古屋の非正規保育の仲間13人が1カ月間で組合員を63人に増やして交渉4万円の賃上げを勝ちとった。ヤマト運輸での建交労のたたかいは大きな励みとなっている。世界でも労働組合がストを背景に大幅賃上げを勝ちとっている。機能不全の岸田政権の退陣を求め春闘をたたかい抜こうと呼びかけました。

そのあと廣瀬肇書記長（左写真右端）が、たたかいの経過と行動を提起しヤマト運輸に対する非正規・業務委託労働者のたたかいが長崎の下請け会社でのストに波及している。大阪ではダンプの仲間がストを背景に月額5千円の手数料UPを勝ちとった。春闘では530兆円に上る大企業の内部留保を還元させ、大幅賃上げと労働時間短縮の同時実現、設計労務単価の連続引き上げを労働者の賃上げに反映させよう。

じん肺基金の実現、能登半島地震被災者の支援カンパ・ボランティアに取り組もうと訴えました。また、今年度の組織内拡大461人、新結成4組織38名の到達点に触れ、組織拡大の抜本強化を呼びかけました。



合の役割果たそう



域で労働組合の役割果たそう



の総力をあけて賃金上げよう 職場・地交労2024年春闘

石川県・トラック・学童保育・京都府からの決意表明！

総決起集会の最後には、代表の4名が各分野での報告とたたかひの決意を表明しました。最初に能登半島地震被災地での活動に奮闘する石川県本部の石田直道委員長（右写真の中央）が発言、余震が続かなか上下水道・電機・ガス・道路などのインフラ復旧がすすまない現状と、被害の大きな奥能登珠洲市に集中している建交労のじん肺の仲間は3分の1が住み慣れた珠洲市を離れざるを得ない。また、組合員の半数は罹災証明を受けているが、仮設住宅には1名がようやく入居できたにすぎないと厳しい実情などを報告するとともに引き続き支援活動を強めていく決意を表明しました。

2人目の決意表明は全国トラック部会の緒方秀樹事務局次長（右写真右）が2月に福岡県で行った“2024年問題を考えるシンポジウム”で、1989年に強行された規制緩和（物流2法）によってトラック業界が受けてきた深刻な現状と今回の残業規制や高



速道路の最高速度引き上げは危険を拡大しかねないことを確認した報告し、標準運賃の実効確保をはじめ適正運賃の確保に向けたたたかひへの決意を表明しました。また、鹿児島島のタンクローリーの運転手が建交労への加入を希望して近々に学習会を行うことを報告し組織拡大の決意を述べました。



3人目は全国学童保育部会の立嶋峰文部会長（左写真の中央）が発言、2月に長野県で拡大幹事会を開催して全国の現状をつかむなかで国の助成金を活用しない自治体が多いことを確認した。政府は“助成金は学童保育の現状改善のために活用して欲しい”と全国学童保育部会に回答していることを自治体に伝えて助成金の活用を迫っていく。学童保育の助成金が次年度大幅に引き上げられることを契機に自治体要請を強め、同時に学童保育を児童福祉法第7条に適用するよう求めると強い決意を語りました。

最後は、京都府本部を代表して筒井紀一郎副委員長（左上写真左側）が発言しました。筒井副委員長は京都市長選挙で京都府本部も応援した福山和人候補が当選まであと一步と迫る大善戦をしたと報告。また、関西合同支部大陽液送分会大田貨物班の上告が不当に不受理されたことを告発して、引き続き大陽液送のたたかひを強めていくと強調しました。春闘では、大幅賃上げを最大の焦点にすえて大規模な決起集会や宣伝行動にとりくむと決意表明しました。



森谷副委員長発声で団結ガンバロウ三唱

総決起集会は森谷稔副委員長の発声で団結ガンバロウを三唱（上の写真）して閉会し、その後国民春闘共闘の中央決起集会や業種部会ごとの行動に移りました。神奈川県本部では事業団・高齢者部会の八巻さんと神奈川県南支部の小島委員長、須田執行委員、赤羽特執が3.7中央行動に参加しました。

24国民春闘勝利！中央総決起集会に2000名



日比谷野外音楽堂で開催された国民春闘共闘全労連主催の中央決起集会に全国から2000名が結集して24春闘勝利の決意を固めました。小畑雅子議長はストを構え大幅賃上げ実現と岸田首相の退陣を迫る“たたかう労働組合のバージョンUP”を呼びかけました。

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

中央執行委員長 角田 肇(代表)



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に“「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711

（名義）建交労中央本部

* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195

（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。